

# 静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2004. 10. 27

参加者 難波（本荘小）高松（邑久小）小野（福田小）倉橋（西大寺南小）三辻（彦崎小）  
松本（国府小）山川（千種小）柴田（西大寺南小）福井（伊島小）

前回の例会も台風に見舞われ休会となり隔週ペースの静観台です。さて、今回は久しぶりの小野先生登場。さらには千種小の山川先生が初参加です。駐車場がいっぱいの静観台は福井の記憶では遠い昔のことです。嬉しい限りです。

## 【3Dステレオグラム】 福井

最近3Dに凝っています。きっかけは学研『大人の科学vol. 2』に載っていた遠山式立体写真。これまでの赤青めがねの立体写真とは似て非なる物。飛び出し方、カラーの具合が全然違います。札束やカブトムシが、ぶわあ〜と浮き上がってくるのは圧巻です。インターネットでは「STEREO eYe」というWebサイトにある作品がとても素晴らしく、これをダウンロードしてプロジェクターで投影しています。 <http://www.stereoeye.jp/shop/index.html>  
写真の赤青めがねはレンタル屋さんで借りた「スパイキッズ3D」のものです。とても性能がよいです。



## 【台風の写真・新聞】 倉橋・福井

今年は台風の当たり年であり、被災された方には誠にお気の毒ですが、5年生の台風についての学習は例年になく深まったものになっています。倉橋先生は国道2号線沿いの被災現場の写真を持ってこられました。大型トラックが家屋にぶつかっています。福井は子供達の台風新聞を持ってきました。



## 【忘れられないご馳走】 高松

『忘れられないご馳走』は文藝春秋に載っていた沖縄の金城幸さんという女子高生の作文をもとに、岡山仮説サークルの人達がプラン化した道徳の授業で、生きるとはどういうことかを考えるきっかけを与えてくれる授業プランです。高松先生はこの授業の後にNHK教育「みんな生きている」から『牛のいのち』という番組を観せたそうです。

## 【肌色のクレヨン PEOPLE COLORS】 高松

普段何気なく使っている言葉。片手落ち、目くら減法、つんぼ棧敷…それらの言葉を聞くと悲しい気持ちになる人がいるということ、すでに日本語の一部になってはいるが別の言葉で表現できるのなら使わない方がよいということは多くの方が分かっています。しかし「肌色」という言葉に偏見が含まれているということはなかなか気がつきません。高松先生の持参されたクレヨンは全部肌色、ピープルカラーです。これを目につく所に置き、無意識で人を傷つけることがないように戒めたいです。サクラクレパスの肌色は、PALE ORANGEです。



## 【日露戦争の英雄？ フィンランドの東郷ビール】 高松

6年生の社会科で習う東郷平八郎。ビールについては諸説あるようです。

